

渡辺利夫 先生 特別講演のお知らせ

主催：日本マクロエンジニアリング学会
(JAMES)

日本を取り巻く極東アジアの地政学は、日清・日露の両戦争の時代に「先祖返り」したかのごとくである—2008年に『新 脱亜論』にて警鐘を鳴らした渡辺利夫先生（拓殖大学総長）は、アジア研究の泰斗であり、当代きってのオピニオン・リーダーでもいらっしゃいます。先生は、近著『アジアを救った近代日本史講義』において、近代日本の歴史を再考し、日本人としての自信と矜持をもって行動すべしと説かれます。

今回の演題は「日韓関係について」。時宜を得たテーマです。多くの方々からのご要望に応え、以下の日程にて開催が実現しました。ふるってご参加ください。

日 時 2014年6月7日(土) 15:30~17:30

場 所 拓殖大学文京キャンパス C館401号室

地図は http://www.takushoku-u.ac.jp/map/acc_b.html 参照地下鉄東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩約10分

参加費 一般:500円 (本学会員・学生・院生:無料です)

プログラム (予定)

受付	15:00~15:30
開会あいさつ	15:30~15:40
講演	15:40~16:50
質疑応答	16:50~17:30

日本マクロエンジニアリング学会会長 吉野文雄
(拓殖大学国際学部教授)

演題「日韓関係について」

渡辺利夫 拓殖大学総長

講演 渡辺利夫(わたなべ・としお)先生 プロフィール

拓殖大学総長。経済学博士。専門は開発経済学。

第17期日本学術会議会員、日本安全保障・危機管理学会会長、アジア政経学会(元理事長)、国際開発学会(前副会長)、国際経済学会(前常任理事)、国際ビジネス研究学会(前常任理事)、外務省ODA総合戦略会議議長代理(前)、国際協力に関する有識者会議議長、山梨総合研究所理事長、松下政経塾理事、国家基本問題研究所理事、日本教育再生機構理事、経団連21世紀研究所顧問、世界平和研究所研究顧問、国際ビジョン研究会 国際外交安全保障問題分科会 会長などを歴任。

吉野作造賞、大平正芳記念賞、アジア太平洋賞大賞、開高健賞正賞、野口賞(山梨県芸術文化賞)、JICA功労賞、外務大臣表彰、第27回産経正論大賞、山梨県県政功労者特別感謝状など多数受賞。

主要な著書に、

- ・『成長のアジア 停滞のアジア』東洋経済新報社、吉野作造賞、1985年
- ・『開発経済学』日本評論社、大平正芳記念賞、1986年
- ・『西太平洋の時代』文藝春秋、アジア太平洋賞大賞、1989年
- ・Asia, Its Growth and Agony, Hawaii University Press, 1992年
- ・『神経症の時代』TBSブリタニカ、開高健賞正賞、1996年
- ・『種田山頭火の死生—ほろほろほろびゆく』文藝春秋、1999年
- ・『私のなかのアジア』中央公論新社、2004年
- ・『新 脱亜論』文藝春秋、2008年
- ・『君、國を捨つるなかれ』海竜社、2010年
- ・『アジアを救った近代日本史講義—戦前のグローバリズムと拓殖大学』PHP、2013年
- ・編著に『国際開発学辞典』弘文堂、2004年、『朴正熙の時代』東京大学出版会、2009年などがある。

